

令和7年度 第一学期 保護者会 4 / 11・12

本日は御参会いただきありがとうございます。私からは、専科等の教員紹介と新年度の御挨拶をさせていただきます。

(副校長、主幹教諭、養護教諭、専科等の担当の紹介)

新年度の初めに、お伝えしたいことのポイントは、学校だよりも載せましたので、紙面を見ながらお話しします。

本校の基本理念は、「子供は未来の守護者」です。その上で、学校の教育方針の重点は、これまで同様、①安全・安心、②ワクワクする楽しい学校、③未来の守護者（子供たち）への責任を果たすことの3点です。

まず、①安全をすべてに優先させます。そのために、子供たちへの安全指導の徹底、校内の環境整備、教職員の研修や訓練等を積み重ねています。

今日は、繰り返しお話をしているところですが、あらためて2点お願いをさせていただきます。

まず、朝の登校時が、最も危険だということです。具体的には、これが職員の朝の動きです。写真で見るとこのような感じですが、職員の体制が確保される8時5分までは、とても危険を感じます。ご家庭の御事情もあるかと思いますが、なるべく8時5分前に到着しないように、家を出すように…。

また、健康面では、ご家庭で毎朝、健康観察をしていただき、調子が悪いときは、登校を控え、必要に応じて医療機関の受診をお願いします。

具体的には、こちらをご覧ください。感染症の流行期と平時と、対応方針を分けていますが、基本的には、感染症防止で大切なことは、「病気をうつされないこと」ではなく、「病気をうつさないこと」というご認識で、ご対応していただければ幸いです。

次に、②ワクワクする楽しい学校、③未来の守護者（子供たち）への責任を果たすために、今年度からの新たな取り組み「学年担任制」についてです。

学校だより4月号には、要点だけ抜粋して掲載しています。詳しくは、校長だより3月号、4月号をご覧ください。また、今後、学校ホームページに学年担任制の特設ページを設けて、その都度、学校の状況などを具体的にお知らせできるようにして参ります。

学年担任制の基本理念は、本校が目指す「垣根のない学校」にあります。「例外なく誰もが安心して過ごせる、一人一人にとって居心地の良い学校」と目的は同じです。

ただ、アンケート結果にもあるように、期待はするけれども不安も大きい。実は、私たち教職員も同じです。どうしても「生みの苦しみ」は避けることができません。

しかしながら、新学期が始まって、わずか数日ですが、大きな変化が見られます。学年担任制の組織、そして学級担任のローテーションの予定はこのようになります。

今、大きな変化は、むしろ、こちらです。簡単に言えば教科担任制の考え方を導入しています。とくに、通常の学級とさくら学級の垣根を越えて、子供たちは交流および共同学習をすすめていることと、教員も、通常の学級の教員がさくら学級の授業を受け持つなど、富士見丘小学校が、真の意味でのワンチームとして機能し始めている手ごたえがあります。

最後になりますが、学年担任制は、本校としては、初めての試みとなります。子供たちの実態や一人一人の特性に応じて、無理のない範囲で、効果的な方策を進めていきます。

そして、デメリットを感じたり、制度設計を変更した方がいい場合は、躊躇せず立ち止まり、柔軟に変更、対応して参りますので、今後も御意見等がありましたら、遠慮なくお寄せください。